

# 明治大学 校友会 秋田県支部会報

第31号  
R3. 8. 7

## 学生支援へ100万円寄付

総支部会  
初のオンラインで開催

感染症の出現は、自然破壊による野生動物との接触が原因であると言われていました。

今後、永久凍土の融解が急速に進み、過去の病原体を呼び起こすのではないかとこの危惧もあります。次世代のために、しっかりと向き合わなければな

らないと痛感させられた一年でした。

すでにご案内の通り、今年の支部総会は7月3日に、オンライン開催とさせていただきます。同時に、三和裕美子先生をお招きしての講演会も延期とさせていただきます。

校友の皆様、いかがお過ごしでしょうか。新型コロナウイルスの感染拡大の中にあつて、皆様と直接お会いする機会をつくることができず、本当に心苦しいところです。昨年開催を見合わせました総会は、今年はズームによるオンライン総会とさせていただきます。

最大の事業として計画いたしました「現役の学生に対する支援」です。

明治大学では現在、オンライン形式での授業はもとより、クラブ活動なども一部制約があります。アルバイトに



その際お願いさせていただきましたことは、今年度

### 今こそ学生に愛の手を

明治大学校友会 秋田県支部長 鶴田有司

ついては、特に飲食業界などの求人自体が減少していることから、アルバイトをしたくてもできずに困惑している学生も多いようです。思うように活動できない学生を、少しでも手助けできないものかと思うのは当然のこ

ります。さらに恒例の全国校友大会、東京六大学神宮会も中止となりました。しかし、「秋田県支部会報」の制作や明治大学現役学生に対する秋田県内への就職支援、奨学支援については引き続き実施して参ります。

ワクチン接種の進展次第では、新年会等で以前の日常を取り戻し笑顔でお会いすることができるかもしれません。とであります。

そこで県支部において、今年度の予算の中から100万円を学生支援のために充ててはどうかという提案でありました。そして過日開催の役員会、並びにこの度の総会でご同意いただいたところであります。

明治大学は本年1月17日に、創立140周年を迎えました。大学のさらなる発展、そして何よりも、そこに学ぶ学生たちの成長を願うものです。私たちが微力ながら応援してまいります。

とはいえ、学生を取り巻く環境は想像以上に厳しく、家計支持者の失業、アルバイトの機会喪失など、これまでと全く異なった状況を呈しています。次世代を担う学生の就学環境はさらに悪化し暗い影を落としています。

秋田県支部としても、このような時こそ校友会として現役学生の就学支援に立ち上がらなければとの思いから、大学に100万円の緊急経済支援を寄付することを提案し、総会で了承されました。

嘗て県内校友の皆さんから拠出していただいた資金を活用しての実行です。この場を借りて心より御礼申し上げます。

なお、今年度は議員の改選期に当たり、佐々木章(S55)さん、米屋美生夫(S56)さん、蓮沼千佳子(S57)さん、佐々木貴徳(H10)さんを推薦させていただきます。

また、支部総会がオンライン開催になったことに伴い、柳谷理事長並びに北野校友会会長からビデオメッセージが届いています。大学の今を、秋田県支部ホームページからご覧下さい。

(秋田県支部幹事長・大坂良宏 昭和52年・経営卒)

### 新たな校友会へ尽力

前支部長・加賀勝己氏を悼む

前秋田県支部長の加賀勝己氏（昭和40年・法卒）が昨年12月4日、病氣療養中のところお亡くなりになりました。

コロナ禍で葬儀にも出られず、見送れなかったことを大変残念に思います。享年79歳。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

加賀勝己氏は、その深い学識、温厚篤実な人柄、懇切な指導育成をもって秋田県支部の運営に携わり、2014年から2期4年にわたり秋田県支部長を務められました。

その間、講演会の開催、時代に合わせた情報発信としてのホームページの開設、紙にこだわり途絶えていた会報発行の再開、父母会との連携強化、県北地域・県南地域を含む全県をカバーした支部運営等々、新たな校友会づくりにも多大な貢献をされました。校友会の魅力は、初対面の人にも、「独立自治」のも



2018年度総会であいさつする加賀前支部長

と同じ空間を生きたとという安心感から、前置き無しにすぐ打ち解け合い、分野・領域を超え交流できることです。

加賀氏が目指した世界は、もちろん長幼の序は重んじなければなりません。が、よりフラットな「おとな社会」のしなやかな組織化でした。

それを引き継いだ私たちは、この組織をさらに存続・進化させなければならぬ責務があります。

このことをお誓いし、ご遺徳とご功績を偲び、御霊に対し追悼の記とします。（大坂良宏・秋田県支部幹事長）

### 鶴田支部長が 県スポ協会長に

明治大学校友会秋田県支部の鶴田有司支部長が、秋田県スポーツ協会の会長に就任した。

鶴田支部長は今年3月、小笠原直樹会長（秋田魁新報社相談役）の任期途中での死去に伴い、新会長に選出され、6月の役員改選で会長に再任された。任期は2年。

鶴田氏は横手市選出の県議で、元県議会議長。会長に再任された6月の臨時理事会で「責任の重さを感じている。若年層を中心に、競技力の向上により一層力を入れていきたい」とあいさつした。県スポーツ協会は今年4月、県体育協会から名称を変更した。

### 全国校友大会 2年連続で中止

第57回全国校友福島大会は、新型コロナウイルス感染症が拡大しているため中止となった。全国大会が中止となるのは、昨年の香川大会に続いて2年連続。

収支計算書(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日) (単位:円)

| 収入の部          | 予算額       | 決算額       | 差額       |
|---------------|-----------|-----------|----------|
| I 本部より助成金収入   |           |           |          |
| 1 支部総会開催通知費   | 170,000   | 137,627   | 32,373   |
| 2 支部総会会場費     |           |           | 0        |
| 3 支部運営助成金     | 200,000   | 218,000   | -18,000  |
| 4 支部公開講演会会場費  | 0         | 0         | 0        |
| 5 講演会チラシ等作成費  | 0         | 0         | 0        |
| II 支部会費収入     | 540,000   | 504,000   | 36,000   |
| III 総会費収入     | 0         | 0         | 0        |
| IV 事業収入       | 0         | 0         | 0        |
| V 寄付金収入       | 0         | 0         | 0        |
| VI 特別寄付金収入    | 0         | 0         | 0        |
| VII 果実収入      | 1,000     | 517       | 483      |
| VIII 広報費      | 0         | 0         | 0        |
| IX 雑収入        | 10,000    | 0         | 10,000   |
| X 基金取崩収入      | 0         | 0         | 0        |
| 収入合計          | 921,000   | 860,144   | 60,856   |
| 前年度繰越収支差額     | 1,926,079 | 1,926,079 | 0        |
| 合計            | 2,847,079 | 2,786,223 | 60,856   |
| 支出の部          | 予算額       | 決算額       | 差額       |
| I 事業費         |           |           |          |
| 1 学生表彰費       | 0         | 0         | 0        |
| 2 学生団体助成金     | 30,000    | 0         | 30,000   |
| 3 地域支部交流費     | 200,000   | 200,000   | 0        |
| 4 支部公開講演会費    | 0         | 0         | 0        |
| 5 義援金(災害学生支援) | 200,000   | 200,000   | 0        |
| 6 その他事業費      | 120,000   | 25,665    | 94,335   |
| II 広報費        |           |           |          |
| 1 支部会報発行費     | 360,000   | 341,362   | 18,638   |
| 2 広報関係費       | 20,000    | 10,151    | 9,849    |
| III 組織費       |           |           |          |
| 1 地域支部助成金     | 0         | 0         | 0        |
| IV 運営費        |           |           |          |
| 1 会議費         |           |           |          |
| (1) 支部総会費     | 170,000   | 195,770   | -25,770  |
| (2) 役員会費      | 100,000   | 100,000   | 0        |
| (3) 監査委員会費    | 10,000    | 0         | 10,000   |
| (4) 委員会費      | 10,000    | 0         | 10,000   |
| (5) 業務費       | 70,000    | 3,877     | 66,123   |
| 2 事務費         | 70,000    | 47,526    | 22,474   |
| 3 慶弔費         | 30,000    | 12,222    | 17,778   |
| V 積立金         | 0         | 512       | -512     |
| VI 予備費        | 0         | 0         | 0        |
| 支出合計          | 1,390,000 | 837,085   | 552,915  |
| 当年度収支差額       | -469,000  | 23,059    | -492,059 |
| 次年度繰越額        | 1,457,079 | 1,949,138 | -492,059 |
| 合計            | 2,847,079 | 2,786,223 | 60,856   |

収支予算書(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日) (単位:円)

| 収入の部         | 予算額       | 支出の部        | 予算額        |
|--------------|-----------|-------------|------------|
| I 本部より助成金収入  |           | I 事業費       |            |
| 1 支部総会通知助成   | 135,000   | 1 学生表彰費     | 0          |
| 2 支部総会会場費    | 0         | 2 学生団体助成金   | 30,000     |
| 3 支部運営助成金    | 215,000   | 3 地域支部交流費   | 200,000    |
| 4 支部公開講演会会場費 | 0         | 4 支部公開講演会費  | 0          |
| 5 講演会チラシ等作成費 | 0         | 5 学生教育支援奨学金 | 1,000,000  |
| II 支部会費収入    | 500,000   | 6 その他事業費    | 250,000    |
| III 総会費収入    | 0         | II 広報費      |            |
| IV 事業収入      | 0         | 1 支部会報発行費   | 360,000    |
| V 寄付金収入      | 0         | 2 広報関係費     | 20,000     |
| VI 果実収入      | 1,000     | III 組織費     |            |
| VII 雑収入      | 0         | 1 地域支部助成金   | 0          |
|              |           | IV 運営費      |            |
|              |           | 1 会議費       |            |
|              |           | (1) 支部総会通知費 | 135,000    |
|              |           | (2) 役員会費    | 10,000     |
|              |           | (3) 監査委員会費  | 10,000     |
|              |           | (4) 委員会費    | 10,000     |
|              |           | (5) 業務費     | 10,000     |
|              |           | 2 事務費       | 40,000     |
|              |           | 3 慶弔費       | 30,000     |
|              |           | V 積立金       | 0          |
|              |           | VI 予備費      | 0          |
| 収入合計         | 851,000   | 支出合計        | 2,105,000  |
|              |           | 当年度収支差額     | -1,254,000 |
| 前年度繰越収支差額    | 1,949,138 | 次年度繰越額      | 695,138    |
| 合計           | 2,800,138 | 合計          | 2,800,138  |

# 明大 **紙上** クイズ選手権

我ら明治大学校友会秋田県支部の総会後の懇親会といえ、例年なら「明大クイズ選手権」で大いに盛り上がる。しかしコロナ禍で昨年は中止、今年もオンラインで総会が行われたものの、懇親会は2年連続で中止を余儀なくされた。そこで、せめて会報でクイズを出し、母校に思いを馳せてもらおうと企画した。題して「明大・紙上クイズ選手権」。いつも独自のクイズをつくり、懇親会では自ら司会を務めている三浦正博さん(昭和62年・商卒)に、珠玉のクイズ10問をお願いした。あなたは何問当てることができるか。

**Q3** わが国初の女性弁護士は、明治大学が輩出しました。○か×か。

答え ○

中田正子氏、久米愛氏、三淵嘉子氏の3名が1938(昭和13)年、同時に司法試験に合格しています。皆さま明大OGです。

**Q5** ラグビー部は2018年度のシーズンにおいて、天理大学を破り、13回目の大学日本一に輝きましたが……。

さて何年ぶりの大学日本一だったでしょうか。



答え

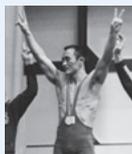
な、なんと22年ぶりでした。その前の日本一は1996年、北島監督がお亡くなりになった年のシーズンでした。決勝の相手は早稲田大学でした。



**Q7** 今年は東京オリンピックですが、過去のオリンピックにおいて、秋田県出身かつ明大出身で、かつ金メダリスト。こんなに高いハードルを超えたのは、流石にどなたもいません。○か×か。

答え ×

お一人いらっしゃいました。1972年ミュンヘンオリンピック、レスリング男子57キロ級、金メダルの柳田英明さん。秋田商業-明治大学出身。



**Q9** 明治大学出身の内閣総理大臣は、ご存知三木武夫氏(66代)と、村山富市氏(81代)のお二人です。では在任日数の長さはどちらが上でしょうか。



答え 三木総理

三木総理747日、村山総理561日でした。お疲れ様です。

**Q1** 明治大学は明治法律学校として1881(明治14)年に創立されました。この方は、創立者のお一人ですが、実は東北地方の出身である。○か×か。



答え ○

この方は創立者の一人、宮城浩蔵先生(1852~1893)。山形の天童藩のご出身です。専門はフランス法です。

**Q2** 明治大学の建学の精神は？「権利自由 質実剛健」である。○か×か。

答え ×

正しくは「権利自由 独立自治」です。

**Q4** 懐かしい学食「師弟食堂」。名前の由来は「師弟一緒に食事をとれば相互の結びつきが強くなる」と、当時の総長が命名したとか。誕生したのは戦後の食糧難時代。○か×か。



答え ×

開業したのは1941(昭和16)年12月4日、太平洋戦争開戦の4日前でした。因みに現在は、「株式会社師弟食堂赤倉ホテル」がリパティータワー17階で「スカイラウンジ眺」を経営しています。

**Q6** やはり明大生のもう一つの代名詞とも言える「猪突猛進!」。野球部のユニホームの左袖にも刺しゅうされています。イノシシのマークは、もともとは故島岡監督の干支からきている。○か×か。

答え ○

島岡監督がお亡くなりになった後はイノシシマークは廃止されたそうですが、2019年の亥年に復活しました。



**Q8** 2020年のNHK朝ドラで、福島県出身の偉大な昭和の作曲家、古関裕而氏をモデルに描いた「エール」が大ヒットしました。

古関裕而さんは早稲田大学の応援歌「紺碧の空」やプロ野球阪神タイガースの応援歌「六甲おろし」をはじめ、甲子園大会の「栄冠は君に輝く」など、数々の名曲を遺しましたが、流石に明治大学への楽曲提供はなかった。○か×か。

答え ×

明治大学第三応援歌「紫紺の旗の下に」を作曲されています。さすが!!

**Q10** 明大生なら誰でも一度は渡ったことのある「聖橋」。その名の由来は、橋幅が狭く行き交う人同士のひじがぶつかりあったから。○か×か。



答え ×

正解は、北側の湯島聖堂と南側のニコライ堂の両聖堂にちなんで聖橋(ひじりばし)と名づけられたそうです。ちなみに、関東大震災の復興橋梁とのこと。 (昭和2年)



(明治大学HPより)

◆和泉新教育棟の名称が決定  
Ⅱ和泉キャンパス・第二校舎南側に現在建設中の和泉キャンパス新教育棟(仮称)の名称がこのほど、「和泉ラーニングスクエア」に決定しました。

「和泉ラーニングスクエア」

ともかくにも新型コロナウイルスの流行が云々とのことで、授業や就活のオンライン化という劇的な変化の奔流に呑み込まれた学生生活の折り返しでありました。

### 寄稿・投稿

顔の見える付き合い合いというものはデジタルネイティブ世代(やや陳腐化した言い方ですが)である我々の世代であっても慣れないことが多く、授業の履修は講師も受講生も何が分からないかが分からないような状態で始まりました。リアルタイム授業で用いるツールも、講師によってバラバラです。学生はそれら全て

は、和泉キャンパスにおける教室数の不足や教育施設の老朽化、さらには社会の激しい変化に対応し、総合的な知の基盤である「教養教育」を展開する場の創出を目的として計画。本学140周年記念事業の目玉としても位置付けられています。来年春季の建物竣工に向けて順調に建設が進み、6月現在、基礎工事・鉄骨建方

をインストールして使い方を覚え、下宿している学生は貧弱な回線・ネット環境に四苦八苦するという、お互いに不便な日々が続きました。そして3年次からのゼミ同期や後輩の面々とも顔を合わせたのは、今年の4月に入ってからなのです。本来、学生



### 劇的な変化の中で

千田 真道

のうちに得られた知己交友を失ったような人間関係の希薄化が、私にとって時下、最も呻吟した事項でした。

就職活動においても同じようなオンラインの時流に巻き込まれました。インタビューシップも説明会も採用面接も、画面の向こう側とだけや

工事(鉄骨の搬入・組立などの工事)が完了。今後、外装と内装などの工事が行われます。

◆ラグビー部新監督に神鳥氏が就任  
Ⅱ体育会ラグビー部の新監督に、ラグビートップリーグのリコーブラックラムズ前監督の神鳥裕之氏(1998年、経営卒)が6月1日付で就任しました。神

り取りして内定を得たという学生も全く珍しくない本年では、やや学生に有利といったところもありました。オンライン化に対応できるか否かといった企業の体質がよく分かり、その意味では例年より実のあるものだったと思えます。

採用を担当されている方から「実は私、あなたの先輩です。頑張ってくださいね」と声をかけてくださることが多く、温かく勇気づけられました。本校の伝統と諸先輩方の力行は、確かに後輩を扶くものでした。

さて、私は体育会部活の主

鳥新監督は6月4日の記者会見で「明治大学らしいワクワクするようなラグビーを見せ、必ず日本一が取れるようなチームにしていきたい」と意気込みを語りました。

会報へのご意見、ご感想は、秋田県支部ホームページ「会員コーナー」からお寄せください。

務を務めており、各手続きなどで大学職員の方にお世話になる機会が多くあります。感染症対策に日夜ご尽力いただく中にありながら、学生の私達へ親身に対応いただき部の活動を維持できたことは万謝に堪えないと思います。

混乱の中にあっても、こうした「人の手」による学生へのお力添えや新たな支援の取り組みを十分に受けることができ、大学への感謝は日増しに強くなっています。私も本校の学生に寄与できるように、OBとして明治大学を盛り立てる一助となれればと思います。

(政治経済学部4年)

### 編集後記

「いくら何でも、もう1年たてば普通の暮らしに戻ることもできるだろう」。昨今の頃は漠然と、こう思っていたのだが、考えは甘かった。未知のウイルスは思いのほか手強い▼かくして未だにマスク生活、そしてソーシャル・ディスタンスが続く。大学ではリモート授業が当たり前になった。そう、最初は異様に見えたものが、いつしか当たり前となって生活に溶け込んでいるのだ▼こうした現象を、生物学では「馴化」というそうだ。私たちが新しい環境に馴化せざるを得ない地点まで来ているのかもしれない。作家の五木寛之は、主要地方紙で連載中の「新・地図のない旅」でこのように指摘している▼「そうかもしれない」と思いつつ、どうも腑に落ちない。というより「こんな生活がいつまでも続いたまるものか」との感情が湧き上がってくる。我々の後輩の学生らが苦しんでいる様子を聞くにつけ、その思いが一層募る。(編集担当・大地進)